

平成24年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校4年 社会 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	単元及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用・技能	社会的事象についての知識・理解		
①	1	(1)		地域の人々の生活3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	昔からある道具の変化について理解していること。				○	○	
②				地域の人々の生活3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	昔からある道具の変化について理解していること。				○	○	
③				地域の人々の生活3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	変化してきた道具のよさについて考え、表現できること。		○				○
④		(2)		地域の人々の生活3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	道具が変化してきた理由をまとめることができること。			○			○
⑤		(3)		地域の人々の生活3・4年	(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具	昔からある道具のよさについて関心をもつこと。	○					○
⑥	2	(1)		健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	資料から、ごみの出し方や処理の様子を読み取ることができること。			○			○
⑦		(2)		健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	びんやかんを洗って出す理由を考え、表現できること。		○				○
⑧		(3)		健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	リサイクルしてつくられる物を理解していること。				○	○	
⑨				健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	リサイクルしてつくられる物を理解していること。				○	○	
⑩				健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	リサイクルしてつくられる物を理解していること。				○	○	
⑪		(4)	ア	健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	グラフから人口の変化を読み取ることができること。			○			○
⑫			イ	健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	グラフからごみの量の変化を読み取ることができること。			○			○
⑬			ウ	健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	グラフをもとに、ごみの量の変化について考えることができること。		○				○
⑭		(5)		健康なくらし3・4年	(3)ア 廃棄物の処理と自分たちの生活とのかかわり	ごみをへらす取り組みを広げる方法について考えようとする事。	○					○
⑮	3	(1)		健康なくらし3・4年	(3)ア 飲料水の確保や自分たちの生活や産業とのかかわり	水道水の取水先について理解していること。				○	○	
⑯		(2)		健康なくらし3・4年	(3)イ 飲料水の確保のための計画的、協力的な対策や事業	資料から、浄水場の働きについて読み取ることができること。			○			○
⑰		(3)	①	健康なくらし3・4年	(3)ア 飲料水の確保や自分たちの生活や産業とのかかわり	グラフをもとに、水道水の使用量について読み取ることができること。			○			○
⑱			②	健康なくらし3・4年	(3)ア 飲料水の確保や自分たちの生活や産業とのかかわり	水資源の確保と自分たちの生活とのかかわりについて考え、節水に向けて取り組もうとすること。	○					○
⑲	4	(1)		くらしを守る3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	地域にある消防施設を理解していること。				○	○	
⑳				くらしを守る3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	地域にある消防施設を理解していること。				○	○	
㉑				くらしを守る3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	地域にある消防施設を理解していること。				○	○	
㉒ ㉓		(2)		くらしを守る3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	資料から、消防団の消防活動について読み取ることができること。			○			○
㉔		(3)		くらしを守る3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	地域社会の一員として、防火活動に取り組もうとすること。	○					○
㉕ ㉖				くらしを守る3・4年	(4)ア 地域社会における災害の防止について	予測される危険から、必要な交通施設について考え、表現できること。		○				○
㉗ ㉘ ㉙ ㉚		(5)		くらしを守る3・4年	(4)イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制	事故が起きた場合の関係機関の連絡体制について考え、表現できること。		○				○